

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 28 年 11 月 2 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	生産工場におけるボイラーの更新及び燃料転換（A 重油→都市ガス）
プロジェクト番号	KC0893
排出削減事業者名	松山タンパク株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 （その他関連事業者名：なし）
事業実施場所	松山タンパク株式会社 （住所：〒790-0931 愛媛県松山市西石井 1 丁目 9 番 36 号）
事業の概要	松山タンパク株式会社において使用している A 重油仕様蒸気貫流ボイラから、高効率の都市ガス仕様蒸気ボイラーに更新する。高効率の都市ガス仕様蒸気貫流ボイラーに更新することにより、エネルギー使用効率の向上を図り、燃料使用量を削減することで、CO2 排出量を削減する。また、ボイラーの燃料を従来の A 重油から単位熱量あたりの CO2 排出量がより少ない都市ガスに更新することにより、CO2 を削減する。
排出削減量の計画	2010 年度 52tCO2/年 2011 年度 170tCO2/年 2012 年度 170tCO2/年 2013 年度 182tCO2/年 2014 年度 182tCO2/年 2015 年度 182tCO2/年 2016 年度 182tCO2/年 2017 年度 182tCO2/年 2018 年度 144tCO2/年

	(事業実施期間合計 1,446tCO <sub>2</sub> )
クレジット 認証期間	開始日 2013年4月1日 終了予定日 2018年12月19日
排出削減方法論	方法論番号 001「ボイラーの更新」

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2016年7月6日 (第3回目実績報告)

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	545tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2016年7月6日)
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 第3回目の実績確認のため、該当なし 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した都市ガスボイラ設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における都市ガスの計測値等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 関係者へのヒアリングにより、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 「都市ガス購入量のお知らせ」の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量

	<p>の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認          使用されている都市ガスの単位発熱量、排出係数が四国ガス提供値であることを確認した。また、A 重油の排出係数はJ-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.5、他は承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認          事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が移行期間内であること</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年7月6日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年12月19日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

なし。

6. 特記事項

省エネルギー量が 9.7kl であることを確認した。

以上